

目標設定シート (2009年度)

部局と評価項目・要素

対象部局	神学部
大項目	9 教育研究等環境
中項目	
小項目	9.0.4 教育研究を支援する環境や条件は適切に整備されているか。
要素	教育課程の特徴、学生数、教育方法等に応じた施設・設備の整備 ティーチング・アシスタント（TA）・リサーチ・アシスタント（RA）・技術スタッフなど教育研究支援体制の整備 教員の研究費・研究室および研究専念時間の確保
小項目	9.0.5 研究倫理を遵守するために必要な措置をとっているか。
要素	研究倫理に関する学内規程の整備状況 研究倫理に関する学内審査機関の設置・運営の適切性

○2009年度からの目標

1. 神学部図書室および学生控え室を、学生会の要望も入れながら整備する。
2. ティーチング・アシスタント（TA）、ラーニング・アシスタント（LA）の任用による教育研究支援体制を整備する。
3. 研究時間確保のために教養教育科目における専任教員の適切な配置を図る。
4. 学院留学および特別研究期間の採用において、公平性を保ちつつ、効率的かつ戦略的方法を構築する。

○指標

1. 学部図書室および学生控え室の整備。
2. 教養科目あるいは専門科目におけるTAならびにLAの任用者数（2013年度までに1名以上）。
3. 教養教育科目における専任教員担当科目の検証と専兼比率。
4. 学院留学および特別研究期間採用者における選考基準の部内明確化（2013年度までに）。